

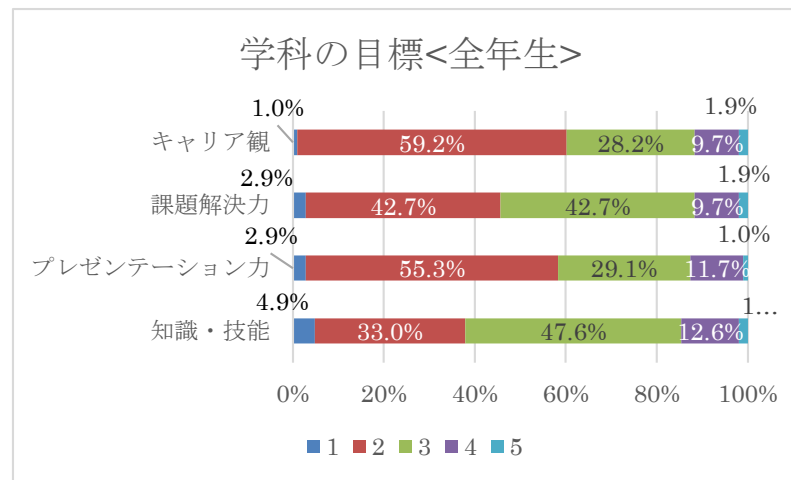
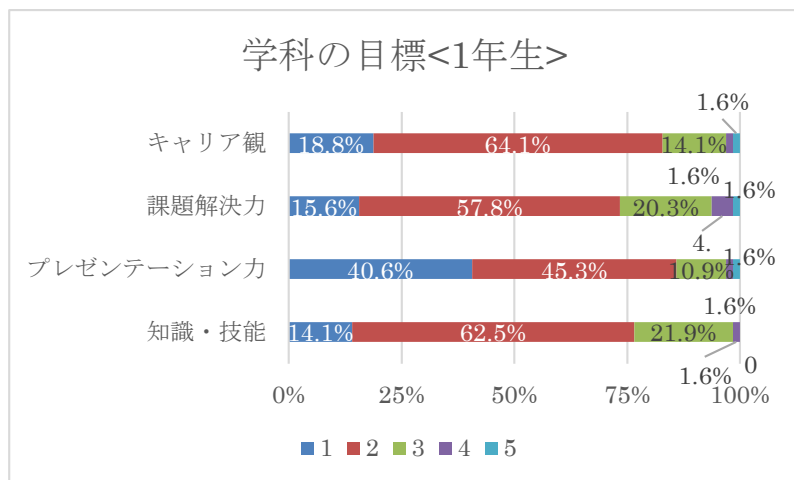
2018年度 学位授与の方針（学生が身に付けるべき資質・能力の目標）に照らした学修成果に関する検証

マイステップ・リエゾンポートフォリオ「学修成果の把握（学科／研究科専攻の学位授与の方針）」のデータを活用した検証です。各学科・研究科専攻の学位授与の方針（学生が身に付けるべき資質・能力の目標）については、本学ホームページの「教育方針」（下記の URL）をご覧ください。

<https://www.tfu.ac.jp/aboutus/policy/index.html>

学位授与の方針に掲げている（１）～（４）の項目に対する到達度を 5 段階ルーブリック評価で検証した。（２年、３年の回答数が少なかったため参考値）

学科・研究科専攻名 産業福祉マネジメント学科



【学位授与方針】

知識・技能

- 1.企業の経済活動ならびに地域共創について考え説明することができない。
- 2.興味をもって調べたりするが、うまく説明できない。
- 3.一定の知識にもとづき、自らの興味の範囲では説明することができる。
- 4.一定の知識をもとに、現状と課題について討議できる。

プレゼンテーション力

- 1.プレゼンスキルを身につけていない
- 2.プレゼンスキルを身につける努力はしている
- 3.主だった、プレゼンスキルは身につけている
- 4.状況と要望に適合したプレゼンスキルを選択することができる

課題解決力

- 1.知識を習得しようとする意欲がない、マネジメントサイクルで考える習慣がない。
- 2.知識を習得することならびにマネジメントサイクルで考える努力をしている。
- 3.一定の知識に基づき、問題を把握している。
- 4.専門的な知識をもとに、現状と課題について理解し基本的な説明ができる。
- 5.問題把握と解決策を具体的に考えることができる。

キャリア観

- 1.キャリア展望を考える必要性に気づいていない。
- 2.キャリア展望の必要性には気づいているが、説明できない。
- 3.キャリア展望について説明することができる。
- 4.キャリア展望を特定の業界・企業の動向を踏まえた上で説明することができる。
- 5.キャリア展望について、経済情勢ならびに業界・企業の動向を踏まえた説明ができる。

検証

学位授与方針に関連する、知識・技能、課題解決力、プレゼンテーション力、キャリア観の4つの項目で入学時と卒業時を比較すると、総じて能力は上昇している傾向が読み取れる。キャリア観では、「4. キャリア展望を特定の業界・企業の動向を踏まえた上で説明することができる」が 8.1 ポイント高い。また、課題解決力では、「4. 専門的な知識をもとに現状と課題について理解し、基本的な説明ができる」が、5.7 ポイント高い。プレゼンテーション力では、「4. 主だったプレゼンスキルは身につけている」が 10.1 ポイント高い。知識・技能では、「一定の知識をもとに現状と課題について討議できる」が 11 ポイント高い。2, 3 年生のデータが不足しているため、経年変化の分析とは言えないが、4 つの項目について、入学時から卒業時に、ポイントが高くなっている点は確認することができた。